



# News Letter

## 活動報告

2011年  
10月 ・ 奈良先端大創立20周年記念式典

## 今後の活動予定

- 2011年  
11月 ・ 奈良先端大 サイエンスフェスティバル  
・ 女性研究者スタートアップ研究費報告会
- 2012年  
1月18、19日 ・ Top Runners ~Women's Life in Science~ (国際シンポジウム)  
3月 ・ 参画室事業報告セミナー

### 奈良先端大20周年記念企画

#### Top Runners ~Women's Life in Science~

奈良先端大では創立20周年記念関連行事として、  
国際シンポジウム「Top Runners ~Women's Life in Science~」  
(本学 バイオサイエンス研究科、グローバルCOEプログラム、男女共同参画室 共催)  
を開催します。

1月18日(水) 奈良県新公会堂(能楽ホール)  
1月19日(木) 奈良先端科学技術大学院大学キャンパス内

### 女性研究者スタートアップ 研究費の報告会 を開催します。

スタートアップ研究費受給者による報告会を開催いたします。  
受給者の方々の研究におけるスタートアップ研究費の位置づけを、  
ご自身の研究をお話いただきます。  
皆様、是非お越しください。

日時：平成23年11月14日(月)  
13時30分~15時30分  
場所：奈良先端大 先端科学技術  
研究推進センター1階  
研修ホール



## 参画室の役割と活動

### 遠隔実験支援システムの貸し出しについて

どうぞご利用ください!

男女共同参画室では遠隔実験支援システムを購入し、充実させてきました。在宅のまま研究・教育活動に携わることができるものや、放射線や化学薬品等を使う実験で妊娠中の女性研究者が室内に入られない場合、学生や研究補助者等に実験指導や観測を遠隔で行えるようにするものなどがあります。現在参画室で取り扱っている遠隔実験支援システムについて、改めてご紹介いたします。

システム名	種類	用途	設置場所	貸出方法
遠隔実験支援システムB	ポリコムHDX4000 + モニター (26インチ液晶テレビ)	高解像度な画像と高品質な音声の相互通信を提供する移動式のシステムを用いて、教員が遠隔(在宅)から学生の実験指導・指示および実験結果の観測を可能にするためのものです。また、出張に行かなくても、他機関の研究者とのコミュニケーションを容易にします。出産・育児で長い時間を研究等に割けない女性研究者を支援できます。	各研究室で利用	参画室までご連絡下さい。
	ポリコムHDX6000 (モニター一体型)		各研究室で利用	参画室までご連絡下さい。
	ポリコムPVX8000 (52インチ液晶テレビ)		物質創成科学研究科F105	システムそばの利用簿にご記入の上、ご利用下さい。
遠隔実験支援システムC	顕微鏡システム	実体顕微鏡画像をネットワーク経由によりリアルタイムに遠隔地で確認することができ、学内での顕微鏡利用者と遠隔地にいる指導者とのディスカッションを可能とするためのものです。	バイオサイエンス研究科D104	システムそばの利用簿にご記入の上、ご利用下さい。
遠隔実験支援システムA	遠隔カメラ	実験の指導・指示・実験結果の観測などを、カメラ等を利用し遠隔から行うシステムです。妊娠中の女性が危険な放射線や有機溶剤を用いる実験の場合など、共同研究者との協力で確実に研究を進めることを可能としています。暗転下での作業でも、鮮明な画像を投影可能で、研究者の安全と正確さを保障しています。	物質創成科学研究科E601・E603・E604	参画室までご連絡下さい。

本学在籍の女性教員・女性研究員の研究支援に役立てるため貸し出しサービスを行っています。

「これは利用できる!」、「使ってみたい!」、「詳しく教えて!」など、その他少しでもご興味を持たれましたら、参画室までお問い合わせください。また、参画室HP内の「遠隔実験支援システム」や「参画室紹介映像」でも、遠隔実験支援システムについてご案内しています。

# 一時託児室「託児室せんたん」誕生の秘話



## 4月に学内に開室した「託児室せんたん」、現在に至るまでの経緯をご存知ですか？

平成20年11～12月 学内託児室に関するニーズがどのくらいあるのか、教職員・学生を対象にアンケート調査を実施しました。（提出総数：683人）

【アンケート結果の抜粋】

- ・学内託児所（預かり者は業者に委託）の設置に「賛成」・・・330人（50%）  
「強く希望する」・・・38人（6%）
- ・学内一時託児室（預かり者は各々で手配）の設置に「賛成」・・・332人（51%）  
「あれば便利」・・・88人（13%）  
「強く希望する」・・・18人（3%）

この結果、回答を頂いた教職員・学生の半数以上が、学内託児所（一時託児室）の設置に賛成し、また「学内に子どもを預かってくれる場所が欲しい」「時間外、病後、休日などに預けられる場所が欲しい」等の声が多数あげられ、学内託児室に対するニーズが高いことが明らかになりました。

平成22年1月 多数の教職員・学生の声をもとに学内での託児室設置に向けて参画室及び男女共同参画推進委員会が中心となり動き始めました。まずは、場所選びです。どこを託児室にするのか？子どもにとって安全、快適な部屋はどこか、学内で候補となる部屋を参画室、人事課、施設課が協力して探し、調整に入りました。

平成22年5月～調整期間中、オープンキャンパス（5月、10月）での一時託児にはゲストハウスせんたんの集会室等を利用し、託児室確保までの一時保育室として、大会館2階和室を使用しました。

平成22年11月 さまざまな部屋が検討されましたが、利用者のニーズ（近い・安全面・託児に適した部屋・間取り）に合う場所として職員宿舎が候補に挙げられました。男女共同参画室運営会議、男女共同参画推進委員会、役員懇談会や宿舎の自治会等で承認され、宿舎の1室を一時託児室として改修することが決定されました。

平成23年2月 施設課と共に協議を重ね、子どもにとって安全な部屋となるよう十分な配慮を行い、改修工事を開始。

平成23年4月 一時託児室「託児室せんたん」を開室しました。

このようにして学内に「託児室せんたん」が誕生したのです。

「託児室せんたん」の運営に関しては、現時点ではシッター等を常駐させずに「場」として提供すると共に、外部の託児組織との連携を試行しています。



### 育児ミニコラム vol.1. ～災害時の対応について～

今年の9月は台風が近畿地方に接近することが多く、警報発令も度々ありました。

県内のほとんどの幼・小学校が休園・休校措置となるなか、子どもをお持ちの教職員の皆様はどのように過ごされたのでしょうか？ 「しょうがないから休んだ」「無理のない範囲で職場に連れていった」「家で仕事をしていた」「知り合いに頼んで子どもをみてもらった」・・・等々。

「託児室せんたん」は子どものみの利用はできませんが、どなたか預かり者がいれば今回のような場合でも部屋を利用することができます。部屋の利用登録やシッター手配についてのご相談は参画室までお問い合わせください。

## お知らせ

### けいはんな女性研究者ネットワーク

けいはんな女性研究者ネットワークは、けいはんな学研都市の女性研究者（技術者を含む）同士の交流の機会を提供し、ワークライフバランスの為に役立つネットワークを目指します。けいはんなで働いている、住んでいる女性研究者の方、以前、けいはんなで働いていた、勉強していた女性研究者の方も参加いただけます。

登録方法:参画室HPからメールフォームにてお申し込み下さい。

URL: [http://www.naist.jp/gender/contents/support/keihanna\\_network.html](http://www.naist.jp/gender/contents/support/keihanna_network.html) )

### ワークライフバランス相談窓口

福祉や育児に関する行政サービスの情報提供や研究と生活の両立についての悩みなど、幅広く女性研究者のワークライフバランスに関わる相談を受け付けておりますので、お気軽にお越しください。（参画室R A 2名が対応）

場 所: 学際融合領域研究棟2号館3階 男女共同参画室内  
 受付窓口: 男女共同参画室内受付または専用メールアドレス  
 受付時間: 月曜日～金曜日 10:30～12:00/ 13:00～17:00  
 直 通 T E L : 0743-72-5138  
 専 用 E - m a i l : wlb-soudan@ad.naist.jp

